

2010年1月27日

ランクセス、ドイツに新プラント建設

ランクセス株式会社

- ザクセン・アンハルト州ビターフェルドに 3,000 万ユーロを投資し、化学品製造プラントを新設
- 世界の候補地を検討しビターフェルドに決定
- 着工式にザクセン・アンハルト州経済・労働大臣のライナー・ハーゼロフ氏が出席
- 約 200 人の雇用創出
- 水処理において先駆的な、膜ろ過技術を採用
- 戦略的な水処理事業を強化

特殊化学品グループのランクセス(LANXESS)は、ドイツのビターフェルド製造拠点に化学品プラントを新設すると発表しました。この新製造拠点設立プロジェクトは、総額約 3,000 万ユーロを投資する先駆的なものです。同拠点では膜ろ過技術の開発と製造に着手する予定で、これにより水処理事業の新分野に参入します。ザクセン・アンハルト州は、このプロジェクトに対し最大 600 万ユーロを支援します。ビターフェルドでは、新プロジェクトに伴い長期的に約 200 人の雇用創出が見込まれています。

新プラントは、2010 年末にパイロット製造と開発を開始し、2011 年に最初の製品を販売予定です。ハイテク実験室、物流区域、事務棟、最先端の製造プラントなどの建設に約 4,000 平方メートルの敷地が確保されています。

膜ろ過技術は、水から不要な物質を除去するために使用され、膜の化学成分と化学構造を利用して硝酸塩、農薬、除草剤、ウイルス、バクテリア、微粒子などの物質を除去します。水が膜を通過する時、膜が選択的なバリアを形成し浮遊粒子と他の不要な物質を除去します。

この新しい技術分野に進出することで、ランクセスは水処理における用途のさらなる拡大を図ります。現在の世界の水処理膜市場は、約 10 億ユーロ規模の販売量と推測されており、今後さらに増加すると見込まれています。

事業拠点を置くことによるドイツへのコミットメント

ランクセスの CEO であるアクセル・ハイトマンは、1 月 21 日(木)にビターフェルドで開催された着工式で次のように述べています。「水は世界的に使用可能な量が減少しているため、ますます貴重な資源となっています。ビターフェルドでの先駆的な投資により、ランクセスは水処理用の新製品の提供が可能となり、同市場における位置づけを一層強化します。優れた効果を発揮するイオ

ン交換樹脂『レバチット® (Lewatit®)』などのランクセスのハイテク製品は、すでに世界中の水問題の緩和に寄与しています」

ザクセン・アンハルト州経済・労働大臣のライナー・ハーゼロフ氏は、次のように述べています。「ランクセスが世界複数にある候補地からビターフェルドを選択し、さらなる投資を決定したことは、非常に喜ばしいことです。ランクセスは、同地で研究開発も予定しているため、この投資により地元経済だけでなくドイツ全体が恩恵を得るでしょう。このことは、同州に付加価値をもたらし、革新の可能性を最大限まで広げます」

ランクセスのビターフェルド拠点は、すでに最先端設備と優れたインフラを完備しています。ハイトマンは、さらに次のように述べています。「すばらしい条件や現地にある大学など、教育機関との提携計画の存在の点で、ビターフェルドはスペインやシンガポールなどの候補地より優れていました」。新プラントの建設は、ランクセスが同拠点と同地域で進めている大規模研究開発プログラムと連動しています。

「ビターフェルドがこのプロジェクトの拠点として選出されたのは、厳しい国際競争においては、ドイツの持つ専門知識と高性能技術が事業にとって重要となるからです。この投資は、ドイツの化学産業とビターフェルドの化学拠点に対するランクセスのさらなるコミットメントを示しています」。2010年1年間だけで、ランクセスはドイツの複数の拠点に約1億5,000万ユーロを投資する予定で、対前年比では微増となります。

ランクセスの水事業

ビターフェルドの新プラント設立プロジェクトで、ランクセスは戦略的に水処理事業をさらに拡大します。世界の水処理市場の規模は、3,150億ユーロから3,300億ユーロと推定されており、スイスの民間銀行であるサラシン銀行によると、同分野は年間約10%の成長することが予測されます。

またハイトマンは、次のように述べています。「今年、ランクセスの事業活動において水事業はますます重要な役割を担っていきます。ランクセスは、この分野でのグローバル展開を積極的に強化し、同市場の可能性を最大限に活用します」

現在インドのジャガディアに建設中の新イオン交換樹脂プラントは、今年中に稼働予定で、アジアでは業界最先端のプラントです。ジャガディア拠点では、半導体産業や製薬業界向けの超純水、および工業用水処理向け、食品生産向け、発電向けの製品を製造します。ビターフェルドとジャガディアの2つの新プラントは、ランクセスにとって水市場に対する過去最大の投資となります。

ランクセスは、ジャガディアの新拠点にイオン交換樹脂の製造プラントに加えてゴム薬品向けのプラントも建設予定で、総額約 5,000 万ユーロを投資します。これらのプロジェクトでは、約 225 人の雇用創出を見込んでいます。

水処理分野における 70 年以上の経験

ランクセスは、水処理用プレミアム製品のワンストップサプライヤーとして 70 年以上の経験と専門知識を持ち、高品質のイオン交換樹脂「レバチット」、吸着剤、機能性ポリマーなどの製品を揃えています。

ランクセスのビターフェルド拠点では、子会社の IAB Ionenaustauscher 社で約 80 人の従業員が 10 年間にわたり高性能イオン交換樹脂を製造しています。同拠点は均一粒径技術を利用する世界中の製造拠点の中で、最大かつ最先端のプラントです。製造されたハイテク樹脂は、水処理、発電、マイクロエレクトロニクス分野、飲料水産業および食品製造・加工産業で使用されています。この粒径の小さな樹脂ビーズは、食器洗浄機用の水の脱灰や脱塩、水フィルタ用では飲料水から炭酸塩や重金属の除去まで幅広い用途で使用されています。ランクセスは、現在ビターフェルドとレバクーゼンの両拠点でイオン交換樹脂「レバチット」を製造しています。

ランクセスのイオン交換樹脂ビジネスユニットは、世界に約 400 人の従業員を擁し、そのうち約 300 人がドイツで従事しています。イオン交換樹脂ビジネスユニットは、パフォーマンスケミカルズ部門(2009 年第 3 四半期まで 9 カ月の売上高: 11 億 4,800 万ユーロ)に属しています。

#

このリリースは、ドイツ・レバクーゼンで1月21日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

このリリースの原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて

ランクセスは、世界23カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2008年の総売上は65億8000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 14,600人、世界中に46の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスについての詳細は同社URLにてご確認下さい。 <http://www.lanxess.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

共同PR株式会社 第一業務局 時松、田中

TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316

lanxesspr@kyodo-pr.co.jp

免責について (Forward-Looking Statement):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なってくる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2010-00002J)